

東北地方 1 か月予報

(9月18日から10月17日までの天候見通し)

平成22年9月17日
仙台管区气象台発表

<特に注意を要する事項>

期間の前半は、寒気の影響により低温となる時期がある見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

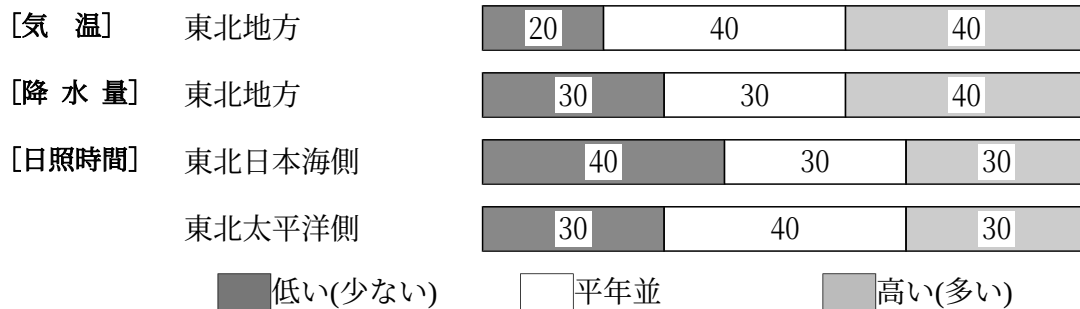
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変わるでしょう。

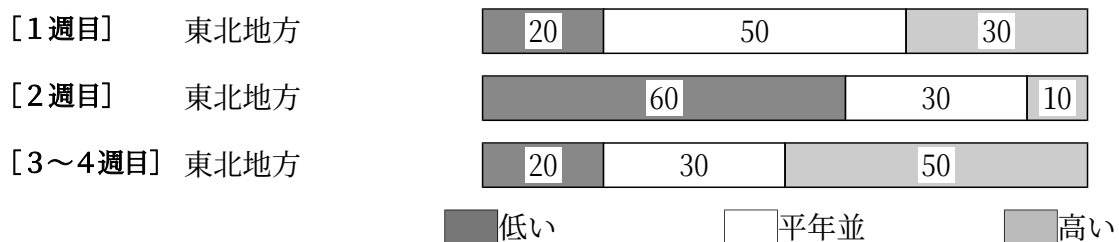
向こう1か月の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、平年並の確率が50%です。2週目は、低い確率が60%です。3～4週目は、高い確率が50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 9月18日(土)～10月17日(日)

1週目 : 9月18日(土)～9月24日(金)

2週目 : 9月25日(土)～10月1日(金)

3～4週目 : 10月2日(土)～10月15日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は9月24日

3か月予報：9月22日(水) 14時

寒候期予報：9月22日(水) 14時

＜参考資料（平年並の範囲等）＞

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3～4 週目の平均気温）

	気 温 (°C)	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温(°C)		
				1 週目	2 週目	3～4 週目
青森	15.4	97.7	158.9	17.9	16.5	14.1
深浦	15.9	157.4	147.1	18.1	16.9	14.7
むつ	14.9	135.2	157.9	17.1	15.9	13.6
八戸	15.4	102.7	154.6	17.7	16.4	14.1
秋田	16.4	147.3	152.8	18.8	17.4	15.0
盛岡	14.7	105.5	140.0	17.2	15.7	13.3
大船渡	16.3	175.5	133.3	18.4	17.2	15.1
宮古	15.6	168.1	140.1	17.7	16.5	14.4
仙台	17.3	158.8	133.1	19.4	18.2	16.2
石巻	16.8	133.8	142.7	18.9	17.7	15.6
山形	16.1	94.6	124.8	18.6	17.1	14.7
新庄	15.3	136.6	107.3	17.9	16.4	13.9
酒田	17.3	161.4	145.5	19.5	18.2	16.1
福島	17.4	134.0	122.1	19.6	18.3	16.2
若松	16.2	97.1	115.0	18.8	17.2	14.9
白河	15.8	155.0	119.9	18.0	16.7	14.6
小名浜	18.4	189.7	133.8	20.3	19.2	17.4

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(°C)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5～+0.2	79～110	93～107
東北日本海側	-0.6～+0.2	82～115	93～107
東北太平洋側	-0.5～+0.2	77～112	94～109

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3～4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北地方	-0.6～+0.4	-0.6～+0.4	-0.5～+0.5
東北日本海側	-0.6～+0.4	-0.6～+0.4	-0.6～+0.5
東北太平洋側	-0.6～+0.5	-0.5～+0.4	-0.5～+0.5

＜参考資料（利用上の注意）＞

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間における各階級の出現率が等分（それぞれ 33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10％以下や 60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成22年9月17日 仙台管区气象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月（9月18日～10月17日）:

天気は数日の周期で変わるでしょう。

期間の前半は、寒気の影響により低温となる時期がある見込みです。

向こう1か月の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

1週目（9月18日～9月24日）:

気圧の谷や前線の影響で曇りの日が多く、雨の降る日があるでしょう。

気温は、平年並の確率が50%です。

2週目（9月25日～10月1日）:

天気は数日の周期で変わるでしょう。寒気の影響を受ける時期がある見込みです。

気温は、低い確率が60%です。

3～4週目（10月2日～10月15日）:

天気は数日の周期で変わるでしょう。

気温は、高い確率が50%です。

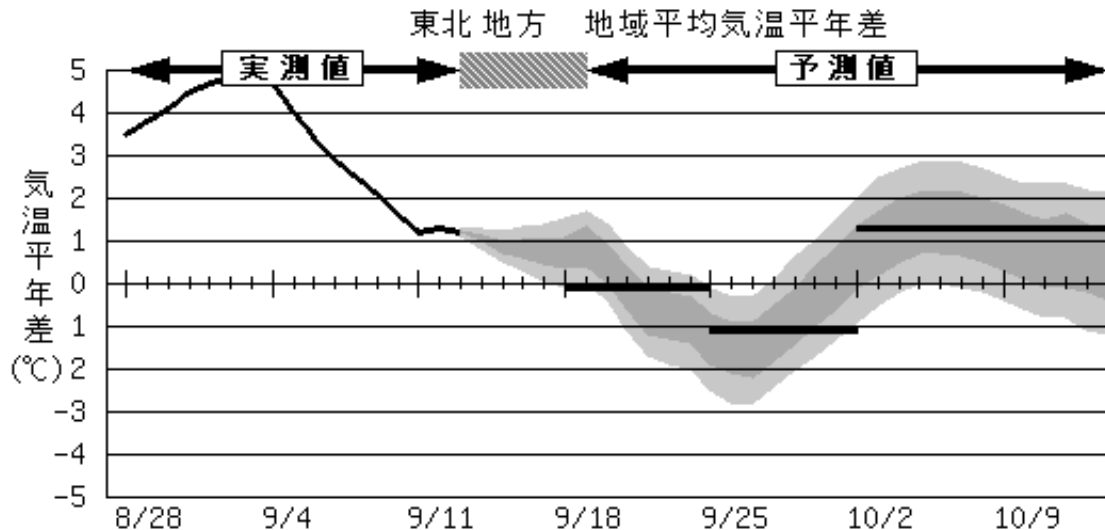
主な気象官署の、向こう4週間の平年の天気出現日数（日）

青 森		秋 田		盛 岡		仙 台		山 形		福 島	
晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
15.9	10.9	15.2	11.6	14.5	9.8	13.7	9.2	12.3	9.4	12.3	8.7

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目は平年付近、2週目は平年を下回り、3～4週目は平年を上回る予想となっている。



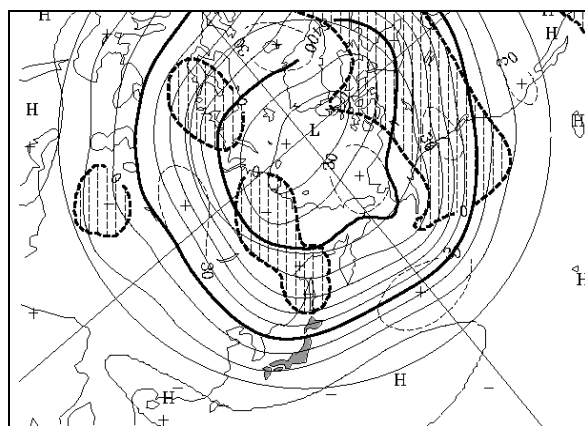
- ・ グラフの値は全て7日間平均値であり、横軸の値は平均期間の中日。
- ・ 予測期間には7日間平均気温の予想に対する信頼の程度が40%の幅(濃い陰影の範囲)と、信頼の程度が70%の幅(濃い陰影と薄い陰影の範囲)を表示。
- ・ 水平な3本の実線は、予報期間の1週目、2週目、3～4週目の平均を表す。
- ・ ハッチの期間は、発表日の観測値が確定していないため、観測値と予測値に基づいて結んでいる。

3. 1 か月平均と 1, 2 週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1 か月平均: 日本を含む極東域は、広く正偏差におおわれ、高温傾向が予想される。一方で北海道の北に負偏差域があり、一時寒気の影響を受ける見込み。

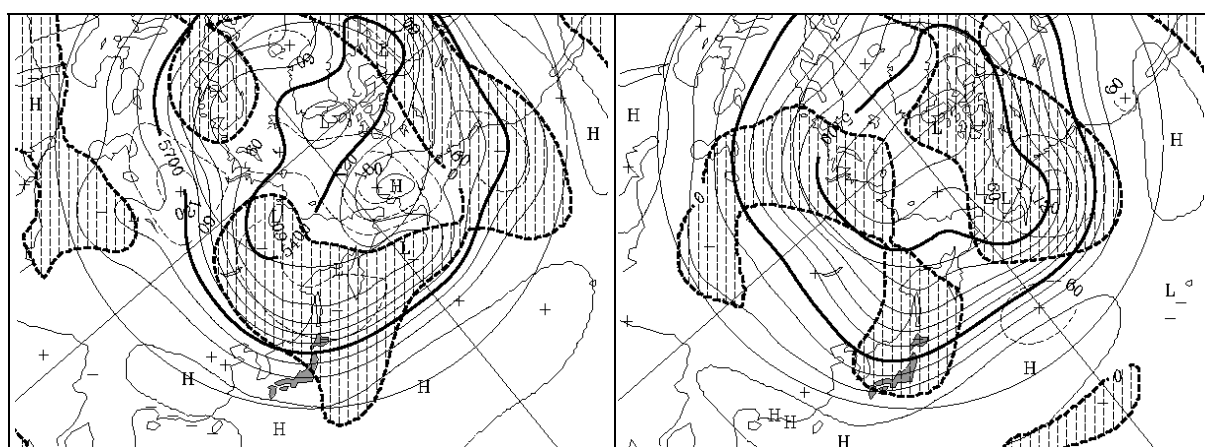
1 週目: 北日本は、オホーツク海を中心とする負偏差におおわれる。期間のはじめは高温となるが、期間の終わりには寒気の影響を受ける見込み。気温は平年程度が予想される。

2 週目: 日本付近は負偏差におおわれる。850hPa 気温予想図 (図略) でも負偏差におおわれ、低温が予想される。



1 か月平均 500hPa 予想天気図

図の見方は 1, 2 週目と同じ。ただし偏差の間隔は 30m。



1 週目平均 500hPa 予想天気図

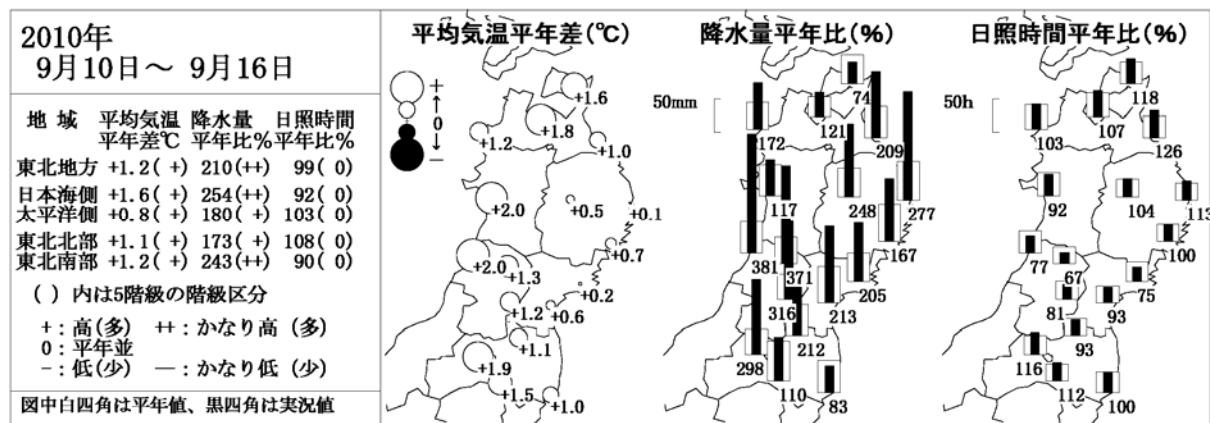
2 週目平均 500hPa 予想天気図

実線は等高線（間隔 60m）、点線は偏差（間隔 60m）。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。

4. 最近 1 週間（9 月 10 日～9 月 16 日）の天候の経過

この期間、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かったが、高気圧におおわれて晴れた日もあった。11 日から 14 日にかけては、低気圧が短い周期で東北地方を通過し、また前線が停滞したため各地で大雨となり、青森県、秋田県、山形県で浸水や山崖崩れ等による被害が発生した。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で多い。日照時間は東北地方で平年並。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差 (比)